

ビオトープだより第36号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。



特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会

<https://www.biotope.gr.jp/>

1. 放棄されて10年以上、実家の里山の手入れ

副会長、北海道・東北地区委員長、主席BA、(株)エコリス 佐竹一秀

激変！入り口の林道

左下の写真は昨年(2023年)2月、実家の里山の手入れを始めた頃の入り口の林道です。スギの落ち葉で道が見えずに、車が入って行く事が躊躇された場所でした。この道を手前側に400m程下ると我が家の入り口、前回提示した写真の印地点に行き着きます。

それが半年後の8月、砂利が敷き詰められ、片側が伐採され、重機や搬出車両が通れるように拡幅されました。近くのスギ林が伐採されると聞いてはいたのですが、実施に見るとその改変ぶりにはビックリです。



スギ林は65歳

9月に入ると伐採が本格化して、下の空撮写真通り搬出用道路の開設と伐採が行われました。その場所は、我が家の西側の真ん前に見えるスギ林です(次ページ参考写真)。

スギやヒノキ植林は林齢40年前後から利用でき、40年生前後は合板やチップ材、50年生前後になると製材用材と使えるようになっていわれています。このスギ林は、入植した当時(昭和30年)に植えられたものだと聞かされていました。なので、ほぼ私と同年齢、65歳オーバーです。実際に伐採が行われていたスギ(下の写真)について、年輪を数えてみたところ(数え難かったのですが)ほぼ65年前後でした。

ただこの地域の材質はあまり良くなくて、まして間伐や枝打ち等の手入れ・管理も十分に行われていなかったこともあり、チップ材が多いとの伐採業者の話でした。



参考写真

我が家（廃屋）の目の前（西方向） スギ林の伐採対象地です。伐採途中ですが変化を見比べてください。（左側は 8 月 26 日撮影、右側は 9 月 15 日撮影）



参考写真

ドローン（斜め）写真での比較です。
北側上空から南方向（左は 4 月撮影、右は 9 月撮影）



参考写真

伐採地の状況及び切り出した木材（9 月撮影）



2. 古鷹山ビオトープ フォローアップ委員会の社会貢献支援財団 ・第60回社会貢献者表彰のご報告

総務委員長・中四国委員長・主席 BA 梶岡 幹生

公益財団法人
社会貢献
支援財団

古鷹山ビオトープ
安倍昭恵会長 ご訪問

2023年11月17日

カジオカLA 2F会議室にて昼食と説明



古鷹山ビオトープのご視察



公益財団法人
日本ビオトープ協会

古鷹山ビオトープ フォローアップ実行委員会

第60回 社会貢献者表彰式典

受賞者懇談会

2023年11月26日
帝国ホテル東京
富士の間



実行委員長ご挨拶



受賞者
清原聡介



社会貢献者表彰式典



第1部 表彰式



実行委員長ご挨拶



授賞状の贈呈



2023年11月27日
帝国ホテル東京
富士の間

第2部 祝賀会



記念コンサート
木山 和成

